

ソブリン格付け

Q: ソブリン格付けとは何ですか

A: ソブリン格付けとは、国が発行する債券(国債)の信用力を示した指標のことです。米国のスタンダード・アンド・プアーズ(以下S&P)やムーディーズ、日本では格付投資情報センター(R&I)などの格付け会社が独自の調査のもと、格付けの公表を行っています。

Q: 格下げとは何ですか

A: 格付け会社は自らが付与した信用格付けに対して、対象債務の返済能力が低下したと判断した場合、格付けを引き下げることがあります。信用格付けの体系として、最も安全性の高い格付けは「トリプルA(AAA)」と表われ、以下信用力の高い順に、「ダブルA(AA)」、「シングルA(A)」、「トリプルB(BBB)」などと表われます。現在の格付けよりも低い格付けへの変更を格付けの引き下げ(格下げ)といいます。2011年8月5日にS&Pは米国債の格付けを史上初

めて「AAA」から「AA+」へ引き下げました。

Q: 米国債はなぜ格下げされたのですか

A: S&Pは1941年以降、米国債を最上級の「AAA」格に格付けしてきました。しかし、過去最大に膨らんだ巨額の財政赤字を現在の政局で削減していくことは難しいという判断をし、格下げに踏み切りました。S&Pは2011年7月より、米国債が最上級格付けを維持するためには4兆ドル規模の歳出削減策を打ち出す必要があるとの見解を示していました。しかし、8月2日に成立した財政赤字削減法で想定される歳出削減規模は2.4兆ドル規模にとどまりました。

Q: ソブリン格付けの引き下げによる金融市場への影響はありますか

A: 国債の格付けが引き下げられることは返済能力の低下を示すた

め、投資家は格下げされた国債を購入するにあたり、今までよりも高い利回りを求めることとなります。これは、その国の利払い負担が増加することを意味するため、財政支出が増加し、一方で公共投資などは減少する可能性があります。つまり、景気に対してマイナス要因になると考えられ、金融市場では、債券利回りの上昇や株価の下落が起こることが想定されます。米国債格付けの引き下げ直後は、世界的な景気減速懸念を背景に急激な株安が進行しました。

Q: 日本のソブリン格付けはどのように評価されていますか

A: 日本の国債は海外格付け会社からは「AA」格の評価を受けていますが、国内の格付け会社大手2社からはいずれも「AAA」格が付与されています。日本国債は国内の機関投資家を中心に保有されており、また国内金融機関の資金余剰を背景とした良好な需給環境から他の先進国に比べ国債利回りは低く、国の利払い負担が軽いという特徴があります。しかし、国内総生産(GDP)に対する政府債務残高は先進国のなかでは最高水準にまで高まっており、今後も財政赤字が拡大を続け、財政再建の道筋がつかなければ、当面の国債消化に問題がなくとも格下げのリスクがあると考えられます。■

●各国のソブリン格付け一覧

国名	S&P	ムーディーズ	政府債務残高GDP比(%)
米国	AA+	Aaa	101.1
日本	AA-	Aa3	212.7
英国	AAA	Aaa	88.5
ドイツ	AAA	Aaa	87.3
フランス	AAA	Aaa	97.3
カナダ	AAA	Aaa	85.9
イタリア	A+	Aa2	129.0
スペイン	AA	Aa2	73.6
ポルトガル	BBB-	Ba2	110.8
ギリシャ	CC	Ca	157.1

(注) 1. 政府債務残高GDP比は2011年6月時点の経済協力開発機構(OECD)予想数値。

2. 格付けは2011年8月24日時点。

(資料) S&P、ムーディーズ、OECD

みずほ総合研究所 市場調査部

橋詰順一

junichi.hashizume@mizuho-ri.co.jp